

監訳にあたって

## 中国陶瓷の全貌を概観した大著に 最新の知見を織り込んだ決定版

大阪市立東洋陶磁美術館館長 出川哲朗

中国の陶磁器は、時に生活になくはならぬ器物として文化史によりそい、時に歴代の皇帝の宝物として美術史の中で燦然と輝いている。また副葬品として、長き眠りにつき、再び姿を現したのもあれば、貿易陶瓷として海外にもたらされ、日本をはじめとして、各地で大切に扱われてきたものもある。新石器時代から現代にいたるまで、途切れることのない中国磁の歴史は世界に類をみないものであり、その広大な国土と悠久の歴史の中で培われた陶磁器の全貌を概論することは、尋常一様の努力では不可能であろう。

二〇〇五年に出版された大著『中国陶磁史』は中国陶磁研究の権威として著名な葉喆民氏（一九二四～二〇一八）が長年の研究蓄積をもとに著したものである。二〇一一年には増補改訂版が出版され、日本語版はこの増補改訂版を底本としている。

二〇世紀後半から二一世紀にかけて中国陶磁研究は飛躍的に進展し、次々と新発見・新知見が相次いでいた。今回、日本語に翻訳するにあたっては、著者から了解を得た上で、詳細な訳注などを加えてそれら新知見を織り込むとともに、挿図の一部を、出土地の明らかな作品や評価の高い世界的名品とされる作品に差し替えるなどの改変を行った。掲載写真は実に一四〇〇点あまりにも及び、類書にはない充実したものとなっている。また、原著にある陶磁器専門用語の中国語と英語の対照表に日本語の用語を加えたりリストを巻末に付し、読者の便を図った。

残念ながら、本書日本語版の完成を見る前に、著者葉喆民氏はご逝去されたが、学術的に価値の高いまた鑑賞的価値の高い氏の畢生の大著の日本語版をこうして刊行することができ、中国陶磁研究者として感に堪えない。今後中国陶磁の研究・愛好家に末永く読み継がれていくことを心より願うものである。

「原著者略歴」

葉喆民（ようてつみん）

一九二四年生まれ。幼い頃より父親である陶磁学者の葉麟趾教授、その後故宮博物院の陳万里、孫瀛洲両氏より陶磁史を学ぶ。中国各地の代表的な窯址の現地調査とともに、博物館が所蔵する陶磁器の鑑定なども行う。一九七五～八五年には初めて汝窯窯址を発見・認定。また北京大学ほかで中国陶磁史、中国書法史などの講義も行い、多くの学生を育てた。著書に「中国古陶磁科学浅説」「中国陶磁史綱要」「汝窯聚珍」「中国磁州窯」など多数。二〇一八年没。

「監訳者略歴」

出川哲朗（でがわ てつろう）

一九五一年生まれ。大阪大学基礎工学部物理物理学科卒業後、大阪大学文学部美学科卒業。同大学院修士課程修了。西宮市大谷記念美術館学芸員、大阪市立東洋陶磁美術館学芸員、同学芸課長を経て、現在大阪市立東洋陶磁美術館館長。著書に「明末清初の民窯」（共著）、「アジア陶芸史」（共著）など。第三回小山富士夫記念賞（平成二三年）受賞。



## 本書の特徴

- ◆本書は増補改訂版『中国陶磁史』（葉喆民著、2011年刊）を底本とし、同書刊行後の新たな研究成果を盛り込むためその一部に変更を加えた、新訂の日本語版である。
- ◆中国陶瓷の歴史的、技術的解説にとどまらず、生活、文化、経済にも広く言及しており、中国陶瓷が世界を席卷した時代の壮大な文化史として、幅広い読者層を想定した内容となっている。
- ◆中国陶瓷の最新の成果を提示するべく、原著の写真図版の一部を中国内外での美術館、博物館の優品に差し替えるなどして、さらなる図版の充実を図った。掲載写真は総計1400点に及び、類書に見られない質量の画像を採録した。
- ◆日本の読者に分かりにくい箇所、最新の文献情報などについては、適宜訳注で解説や付加情報を施した。
- ◆巻末には、中国陶磁史に関する年表を付し、読者の便を図った。また「中国古陶磁用語対応表」では、「古陶磁用語」「古器種・器形」「器物の色調・色彩」「文様・意匠」「代表的な窯址」の分類ごとに主要な用語を抽出し、中国語・英語・日本語の対応表を付し、テクニカルタームの学術的整理を目指した。

※なお、日本で定着している用字に基づき、本書の書名は『中国陶磁史』としておりますが、中国の「瓷器」と日本の「磁器」はその意味を異にするため、本文では原著通りの「瓷器」「陶磁史」などの表記を採っています。

## 本書をおすすめします

- ◆陶磁器の愛好家・研究者
- ◆工芸史の研究者、美術系大学、美術学部
- ◆中国文化史の研究者、文学部
- ◆工業材料の研究者、理工系学部
- ◆各県・市町村の埋蔵文化財センター
- ◆各県・市町村立図書館、美術館、博物館など



## 『中国陶磁史』（全1巻）

【原著】 葉喆民  
【監訳】 出川哲朗  
【翻訳】 徳留大輔 新井崇之

A4変型判／上製・カバー装／704ページ／オールカラー  
定価：本体38,000円＋税 ISBN：978-4-336-06316-8

発行：科学出版社東京 発売：国書刊行会

国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15 TEL:03-5970-7421 FAX:03-5970-7427  
http://www.kokusho.co.jp e-mail: sales@kokusho.co.jp



取扱店

## 申込書

ご記入後、お近くの書店へお持ち下さい。

中国陶磁史（定価：本体38,000円＋税）を \_\_\_\_\_ 冊 注文します

お名前

ご住所

お電話

# 中国陶磁史

先史時代から現代まで、中国磁の悠久の歴史を、一四〇〇点余の図版とともに概観する大著。最新の知見を織り込んだ新訂の日本語版、ついに刊行なる！

全1巻

オールカラー

【原著】  
葉喆民

【監訳】  
出川哲朗

【翻訳】  
徳留大輔  
新井崇之

発行 科学出版社東京 発売 国書刊行会

2019年  
9月刊行



年表

Table with 3 columns: 中国陶器の歴史年表 (China Ceramic History Timeline), 中国の歴史年表 (China History Timeline), and 中国の歴史年表 (China History Timeline). It lists various historical events and ceramic developments from 1000 BC to the 20th century.

[36% 縮小]

付録組見本



2-1 新石器時代中期の彩陶器。左は、彩陶器の代表として知られる西安半坡の彩陶器。右は、彩陶器の代表として知られる西安半坡の彩陶器。中央は、彩陶器の代表として知られる西安半坡の彩陶器。



3-1 新石器時代中期の彩陶器。左は、彩陶器の代表として知られる西安半坡の彩陶器。右は、彩陶器の代表として知られる西安半坡の彩陶器。中央は、彩陶器の代表として知られる西安半坡の彩陶器。

[36% 縮小]



10-1 元青花孔雀石社丹文大罐 (大英博物館蔵) 10-2 元青花山石文典型的特徴 (大英博物館蔵)

目次

Table of Contents listing chapters from 第一章 陶器の起源 to 第十三章 清代陶器の繁栄. It includes sub-sections like 第二章 新石器時代における陶器の分布と編年, 第三章 夏商周時代の主要な製陶工芸技法, etc.

Table with 3 columns: 中国古陶器用語表 (中一英一日). It lists various ancient Chinese pottery terms in Chinese, English, and Japanese.

[36% 縮小]



2-2 新石器時代中期の彩陶器。左は、彩陶器の代表として知られる西安半坡の彩陶器。右は、彩陶器の代表として知られる西安半坡の彩陶器。

[36% 縮小]

付録

Table of Contents for the Appendix, listing sections like 第一章 陶器の起源, 第二章 新石器時代における陶器の分布と編年, etc.

付録組見本

第十三章 清代陶器の繁栄

地方名窯の概況／景德鎮窯の復興と発展／清代陶器の造形と装飾／清代陶器と技術の伝播／清末民初（清代末期から民国初期）の陶器業

第十章 新しい道を開いた元代瓷器

景德鎮及びその類型／龍泉窯及びその類型／磁州窯及びその類型／鈞窯及び鈞窯類型／その他の地方名窯／琉璃器の製作／元代陶器の国内流通と対外輸出

第九章 遼金西夏陶器の民族風格（民族的雰囲気）

遼・金陶器の主要産地／遼・金遺址と墓葬出土の陶器器／遼・金陶器の特徴／西夏陶器の歴史概況

第八章 宋代陶器の高峰

定窯及びその類型／磁州窯及びその類型／汝窯及びその類型／鈞窯 耀州窯及び鈞窯／景德鎮及びその類型／建窯及びその類型／龍泉窯及びその類型／哥窯及びその問題／官窯及びその問題／宋代製陶工芸の主要な到達点／宋代陶器の対外輸出と製作技術の伝播

第七章 唐代陶器の輝きと到達点

南方・北方の青瓷の代表的な窯／南北地方の白瓷の著名な窯／独樹一幟（独自に一派を打ち立てた）の唐三彩／唐・五代時代の陶器工芸の主要な到達点／唐・五代時期における陶器の対外輸出／伝説中の五代名瓷——柴窯器

第六章 隋代陶器の普及と向上

白瓷の焼成の成功／著名な青瓷の窯／隋代青瓷の主要な特徴／隋代陶器工芸の特色

第五章 魏晋南北朝時代の陶器

三国 兩晋時代の青瓷／六朝青瓷と彩釉瓷器／魏晋南北朝陶器の造形と文様

第四章 秦漢時期における陶器の発展と瓷器の出現

秦代大型陶甗の焼成／豊富で多彩な陶器／後漢における瓷器の焼成／漢代陶器工芸の到達点

第三章 夏商周時代の主要な製陶工芸技法

夏代に出現する灰陶、黒陶と白陶／中原地区における商代陶器の主要な発展／その他の地方色の強い青銅器時代の陶器／戦国時代の特に芸術的な陶器

第二章 新石器時代における陶器の分布と編年

黄河流域の新石器時代陶器／長江流域の新石器時代陶器／その他の地区の新石器時代の陶器／新石器時代陶器の製作と焼成方法／新石器時代陶器の造形と装飾芸術

第一章 陶器の起源

黄河流域の新石器時代陶器／長江流域の新石器時代陶器／その他の地区の新石器時代の陶器／新石器時代陶器の製作と焼成方法／新石器時代陶器の造形と装飾芸術